

「コメ生産調整の選択制は現場に混乱与える」

木浦市長、一般質問で見解示す

一般質問が18日からはじまりました。初日は7議員が登壇し、今議会注目の諸課題について質問が繰り広げられました。

このうち、田村武男議員（政新）はコメの生産調整の全廃・選択制が検討されていることについてとり上げ、市長の見解を求めました。

答弁に立った木浦市長は、「コメの生産調整の全廃・選択制が導入されると現場に混乱を招く。これまで転作大豆などの生産を重視し、自給率向上にも寄与してきたが、それも危ぶまれる。当市にとってはマイナス部分が多いので、容認するわけにはいかない」とのべました。今議会の提案説明でコメの生産調整に関して沈黙していた木浦市長ですが、党市議団でも地域農業と農家の実利を守る立場から論戦をしていくことにしています。



【総務常任委員会審査の様子】13日、16日の総務常任委員会では、新幹線駅舎デザイン、市役所本庁庁舎のトイレ改修、中学生の平和祈念式典参加生徒の作文集の単行本化、町内会集会所の整備、行政改革の進捗管理などについてとりあげました。その一部は新聞、テレビでもとりあげられています。

「署名の重み受け止め、注視」
信濃町廃棄物最終処分場問題で市長
さて、初日の一般質問では、長野県信濃町の

廃棄物最終処分場問題を飯塚義隆議員（創風クラブ）がとりあげました。

この問題は地元の信濃町が地質専門家の調査結果を受けてハッキリと反対を表明。上越地域農業水産団体連絡協議会も関川に汚水流入の可能性があると5万4000筆もの反対署名を集め長野県知事などに働きかけています。また、市議会も先日全会一致で建設反対決議を行ったばかりです。

飯塚議員の「どう受け止めているか」という質問には、市長からはごく自然に反対表明がされるものと思っていましたら、動きを「署名や決議の重みを受け止め、注視していく」との発言にとどまりました。これには議場にいる議員もびっくり、「何で反対を言えないのかね」と

いう声も聞こえてきました。当然です。

「利用価値のない土地は積極的に売却」発言にヤジ：西城スポーツ広場

初日の一般質問で大きな話題となったもうひとつ、西城スポーツ広場問題。永島義雄議員が、「高田師範をもつてくるときに高田の人たちが苦労した歴史があるが、（問題となっていない土地は）上越地方の教育の原点ともなった場所だ。（地元住民との）コンセンサスも得ないで売却を決めるなんておかしいやり方だ。もっと時間をかけて検討すべきだ」と訴えました。これにたいして市長は、「利用価値のない土地は売却する。まずは上教大に働きかける」と発言。議場からは保守派を含め激しいヤジが飛びました。



【キクザキイチゲ】今年もきれいな花を見せてくれています。写真は代石地内で撮影。

吉川小学校大規模改修に5432万 新年度の吉川区関連予算概要

新年度の予算審議がほぼ終わりました。今号より主な予算についてお知らせしていきます。

まずは見直しが行われたばかりの吉川区の地域事業費についてです。吉川区の地域事業費は総額で1億9510万円。厳しい財政状況が反映し、前年度に比して430万円の減となりました。以下◎印は主な事業費です。

- ◎吉川区ケーブルテレビ事業 5989万円
- ◎吉川小学校大規模改修事業 5432万円
- ◎吉川スカイトピア遊ランド等施設修繕事業 3471万円
- ◎吉川区市単独道路新設改良費 4616万円

続いて一般事業費の中から主なものを紹介します。

- ◎吉川区地域振興事業（やったれ祭りなど） 429万円
- ◎吉川コミュニティプラザ管理運営費 1894万円
- ◎観光施設等環境整備事業 210万円
- ◎観光施設等管理事業 586万円
- ◎道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費 468万円
- ◎吉川区除雪費 3496万円
- ◎排水処理施設管理費 7617万円
- ◎吉川ゆったりの郷管理運営費 1018万円
- ◎地域バス運行事業 696万円
- ◎吉川区スクールバス等運行事業 771万円
- ◎吉川区体育施設管理運営費 374万円



NO 1389
2009.3.22

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/